

カリキュラム

コースコード：24-124

タイトル	トラック運送業の業務改善講座				
サブタイトル	業務を見直し、荷主に選ばれる企業へ				
研修のねらい	中小企業が99%を占めるトラック運送業界では、「物流の2024年問題」による労働時間削減の要請もあり、ドライバーの高齢化・人手不足が深刻な問題となっています。業界としてデジタル化や原価管理によって「生産性の向上」を図りながら、ドライバーの労働環境の改善に向けて「働き方改革」を推進している状況にあります。 本研修では、トラック運送業界の現状と今後の動向を理解した上で、トラック運送業者の多くが抱える経営課題を参考に、自社の経営課題を整理します。また、物流KPI（重要業績評価指標）について学び、自社課題の抽出と今後の解決策の検討に取り組みます。				
研修の特徴	i）トラック運送業界の今後の展望や課題を学べます。 ii）生産性向上や働き方改革への取り組み方を学べます。 iii）他社事例を参考に自社課題の整理ができます。				
対象者	経営幹部、管理者 ・トラック運送業の方 ・人手不足対策や生産性向上を図りたい企業の方 ・業務改善に取り組む企業の方	定員/最大定員	20 名		
		研修期間/時間数	2024年9月4日(水)～5日(木)		
			2 日	14 時間	
		会場	中小企業大学校瀬戸校 パソコン実習室		
		受講料	22,000 円		
科目構成					
日付	時間	科目	内容		講師
9/4 (水)	9:20～9:40	開講式・オリエンテーション			
	9:40～12:40 (3H)	トラック運送業界の現状と展望	トラック運送業界の現状と今後の展望について、業界の抱える課題を踏まえて学びます。 ・トラック運送業の現状と動向 ・ドライバー不足問題と働き方改革 ・先進技術活用と今後の技術革新 ・請負運送業から顧客価値創造業への変革		合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 代表社員 久保田 精一
	13:40～17:40 (4H)	トラック運送業における経営課題と対策の考え方（演習）	トラック運送業者が抱えることの多い経営課題を事例を交えて学びながら、自社の経営課題について検討します。 ・トラック運送業者の抱える課題 ・輸送効率の向上とコスト削減／技術活用 ・人手不足対策と労働環境改善 ・自社の経営課題の整理・検討		
	18:10～19:10	受講者交流会			
9/5 (木)	9:30～12:30 (3H)	物流KPIの概要と活用法（演習）	事業や業務の改革・改善を進める上で重要になる物流KPIの考え方と実務での活用法について事例を交えて学びます。 ・目標設定の重要性 ・物流KPIの考え方 ・物流KPIの実務での活用		
	13:30～17:30 (4H)	自社課題の洗い出しと対策の検討（演習）	研修のまとめとして、自社の経営課題を洗い出し、今後のアクションプランの作成に取り組みます。 ・荷主連携による改善 ・組織的に推進するための方策 ・アクションプランの作成と発表		
	17:40～17:50	閉講式			
講師氏名		略歴			
久保田 精一 （くばた せいいち） 合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 代表社員		（財）日本システム開発研究所、（公社）日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所にて物流分野の調査研究・コンサルティングに従事。荷主および物流事業者に対する物流コスト管理導入の支援、物流KPIの導入支援や国・地方自治体の調査研究を実施。日本物流学会会員、運行管理者（貨物）、城西大学 非常勤講師。			